

2026年1月16日

各位

赤外線サーモグラフィ部門 主査 遠藤 英樹

赤外線サーモグラフィ部門ミニシンポジウム  
“社会・産業インフラ、製造工程分野における非破壊検査と今後の課題”  
開催案内

日本非破壊検査協会赤外線サーモグラフィ部門は、2026年3月6日（金）に2025年度赤外線サーモグラフィ部門ミニシンポジウムを開催いたします。

最近は検査会社の技術者だけでなく大学の研究者も多忙で、自身が専門とする業界以外のニーズやシーズを知る機会が少なくなっています。非破壊検査に携わる技術者および研究者が視野狭窄に陥ると、国内の社会・産業インフラの健全性および工業製品の品質の担保が困難になる恐れがあります。そこでテーマを「社会・産業インフラ、製造工程分野における非破壊検査と今後の課題」として、主要ないくつかの業界の現状を横並びに概観する企画としました。

今回は現場をよく知る技術者に講演を依頼しました。講演内容は赤外線サーモグラフィ試験に限定せず、建築、土木、鉄鋼、製造それぞれの分野の非破壊検査の現状（限界）と今後の課題について紹介いただくようリクエストしています。自社に保有する検査技術を新たな対象に展開することを考えている非破壊検査技術者や新たな研究テーマを探している若手研究者の方には有益な情報を入手できる機会になると思います。

さらに、基調講演は神戸大学の阪上隆英先生にお願いしました。講演では、これまで先生が大切にしてきた、現場に軸足を置いた研究についてお話をいただけるものと期待しています。

約半日の短いシンポジウムではありますが“非破壊検査工学は実学である”ことを講演者および参加者が再認識するとともに、これから非破壊検査のありかたを見通す契機したいと思いますので積極的にご参加いただきますようご案内申し上げます。

なお、英文の参加証明書をご希望の方は事務局までご連絡ください（発行にお時間をいただくことがありますご了承ください）。

記

1. 開催月日：2026年3月6日（金）13:30～16:00

2. 場 所：神戸大学 六甲第二キャンパス 自然科学研究棟3号館125室  
(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1)

<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/campus-life/general/access/rokko/rokkodai2/>  
(六甲第二キャンスマップ [65])

3. 連絡先 : (一社)日本非破壊検査協会 赤外線サーモグラフィ部門ミニシンポジウム係  
Tel: 03-5609-4015 E-mail: [takashima@jsndi.or.jp](mailto:takashima@jsndi.or.jp)

4. ミニシンポジウム参加費 :

赤外線サーモグラフィ部門登録団体会員	無料 (論文集1冊を含む)
赤外線サーモグラフィ部門登録個人会員	
登壇者・座長	
学生	
上記以外のJSNDI正会員	¥1,000 (論文集1冊を含む)
非会員	¥2,000 (論文集1冊を含む)

5. 参加申込締切日 : 2026年2月27日(金)

6. 講演

- ① 建設業界における赤外線法への期待 (13:30~14:00)  
佐藤 大輔((株)コンステック)
- ② 装置産業および多品種少量生産における非破壊検査と今後の課題 (14:05~14:35)  
遠藤 英樹(新居浜工業高等専門学校)
- ③ 本州四国連絡橋の維持管理 ~長大橋管理における非破壊検査技術~ (14:40~15:10)  
溝上 善昭(本州四国連絡高速道路(株))
- ④ 基調講演 (15:15~16:00)  
赤外線計測による材料・構造物の非破壊評価  
～これまでになかった検査・計測法の開発を目指して～  
阪上 隆英(神戸大学)

以上